

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月20日

計画の名称	親水公園東ゾーン利便性向上に資する環境整備												
計画の期間	平成31年度 ~ 平成31年度 (1年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	愛西市												
計画の目標	愛西市最大の公園である親水公園をスポーツ・レクリエーションなどの中核施設として、より幅広い年齢層の利用者が安心・安全・快適に利用できる施設とするため、多様なニーズに対応した公園づくりを推進することで公園の利用促進を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	70	A	70	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	親水公園フットサルコート夏期(5月~10月)利用者数を2,899人から3,348人に増やす。 親水公園(フットサルコート)の夏期(5月~10月)利用者数 (親水公園(フットサルコート)の夏期利用者数の増加) = (評価時点の親水公園(フットサルコート)利用者 - H30の同利用者数)	H30 2899人	人	H32 3348人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 愛西市産業建設部都市計画課で実施	事後評価の実施時期 令和2年11月
	公表の方法 愛西市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	フットサルコート及びその周辺の利便性が向上し、利用者数の増加に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	観戦者等の利便性向上、またウォーキング経路にもなっている。
特記事項（今後の方針等）	
施設管理者（指定管理者）と連携した適切な管理運営に努め、さらなる利用者の増加を図る。	

